

園服を活用した服育という考え方

服育とは



服育とは私達の暮らしになくてはならない衣服の大切さやその力について理解し、私達の暮らしに活かす力を養う取り組みです。

衣服は生活を支える三要素「衣食住」の一つでありながら、おしゃれの観点から語られることが多く、私達の生活を支える様々な役割を担っているものであると意識されることは少ないのではないのでしょうか。

服育では健康、安全、人とのコミュニケーションはもちろん、環境や海外とのつながりなど衣服の様々な役割や可能性について学び、その力を生活の中にかすことのできる「生きる力」や「豊かな心」の育みを目指しています。

自分を「守る」服／健康・安全の観点

元々私達は自分を"守る"（防護性）ために衣服を身にまとうようになりました。これは現代の衣生活においても大切な基本的目的です。

どのようなデザイン、色、素材の服が健康や安全を考える上で有効なのか（もしくはどういったものが危険性を増すのか）、正しい知識を持ち着こなすことは自分自身を守るために大切です。

for example
たとえば・・・

- ✓ 暑い日に涼しく、寒い日に暖かく過ごすことのできるデザインや素材
- ✓ 視認性を上げることにより交通事故のリスクを減らす色やデザイン
- ✓ その日の活動に合わせた動きやすいデザインや素材





自分を「伝える」服／社会性の観点

成長していくにつれ、子ども達の社会は広がっていきます。社会が広がり人との付き合いが増えていくと重要になってくるのが、他者とのようなコミュニケーションをとるかです。

ノンバーバルコミュニケーション（非言語コミュニケーション）の一つである衣服は着ているだけで自分を伝える重要な役割を担っています。この衣服のコミュニケーション力について理解し、TPOに応じた表現力を身に付けることは社会生活を送る上で大切な力になってきます

for example 
たとえば・・・

- ✓ オンタイムとオフタイムの衣服の違い
- ✓ 衣服のデザイン、素材、色の違いで変わるメッセージ
- ✓ 衣服の着こなし方によって変わるメッセージ

学校で取り組む服育

子ども達にとって初めての社会である学校という場は、服育を学ぶ上でも重要な場です。

その日の授業内容や気候・気温に相応しい衣服について考えたりその衣服について友人とディスカッションする等々、仲間と共に過ごす学校という場だからこそ深める事のできる服育があります。


特に皆で同じ衣服を着用する制服のある場合は、普段のカジュアル服とは違うフォーマルスタイルの衣服の役割や相応しい着こなしについて学ぶこともできます。



和洋の「文化理解」に役立つ服／国際性

伝統衣装はもちろんのこと、現代の服装にも国によるデザインや着方の違いがあります。なぜその相違点があるのか知ることは、文化的、地理的に違う背景を持つ他国について理解を深めることにつながります。

また他国の衣服文化を知ることは日本の衣服文化を理解することにもつながり、日本人としてのアイデンティティ確立にもつながるでしょう。

for example 
たとえば・・・

- ✓ 着物やふろしき等の日本の布文化から和文化への理解を深める
- ✓ 各国の伝統衣装からその国の歴史や特徴について知る
- ✓ 現代の日常服の違いからそれぞれの価値観について考える



環境を学び「行動」へ移す服／環境の視点

様々な素材で作られ、8割近くがまだ廃棄処分されている衣服は、衣服を着用する私達皆にとって身近な環境問題です。

誰もが毎日着用する衣服だからこそ環境との関係について正しい知識を持つことで、子どもから大人まで誰でも日常生活の中で環境を意識した行動に取り組むことができるのです。

for example
たとえば・・・

- ✓ 効果的なクールビズ、ウォームビズの着こなし
- ✓ お手入れの仕方やリサイクルによる環境負荷の違い
- ✓ 衣服のライフサイクル（服の一生／原料～縫製～着用～リサイクル・廃棄）の中での環境負荷



家庭で取り組む服育

子ども達にとって衣服について最初に学び、知識面でも大きな影響を受けるのは家庭です。

幼少期の衣服に関するしつけはもちろんのこと、衣服の選び方（毎日の着用や購入）や日々のお手入れ等は、全て家庭内での衣生活です。

また最も身近な大人である親の服装は、子ども達の衣服に対する価値観（大人がどのように衣服を大切にし、付き合っているか）形成に大きく関わっています。

服についての学びも実践も行う場である家庭においては、親子のコミュニケーションはもちろんのこと学校や地域との連携をとるなど、家庭の服育力を高めることが子ども達の生きる力を養う上でも大切になってくるでしょう。（株式会社チクマ HP より引用）



このように、服に関わる”服育”という考え方は、

2004年に大阪の繊維専門商社チクマが提唱し、日本の教育関係分野に広がっています。衣服のTPOや服装マナー（社会性の向上）、衣服の3R（リデュース・リユース・リサイクル）や、クールビズ・ウォームビズ等（環境問題）、衣服の防護機能（健康・安全）、地域ごとの衣服文化（国際性・文化理解）など、服にまつわる課題を乗り越える力を幼児期から養っていくことは、SDGsの視点にとっても大切です。

だけど、入園や進級をするたびに4月の支払いが…



そこで、3つのプランを用意しました！

購入プラン



- ・上着 5,200円
- ・ズボン 2,200円
- ・半袖ポロシャツ 4,400円
- ・長袖ポロシャツ 5,000円
- ・ブラウス 2,200円
- ・スモック 1,800円
- ・かばん 3,355円
- ・帽子 1,460円
- ・キーホルダー 170円

上記のセットをお子様
に合わせた枚数で新品
を着させてあげたい方
にオススメ★

レンタルプラン



- ・上着 1枚
- ・ズボン 2枚
- ・半袖ポロシャツ 3枚
- ・長袖ポロシャツ 3枚
- ・ブラウス 1枚
- ・スモック 1枚
- ・帽子 1個

上記の進級セットを
月額1,500円（税込み）で
レンタルできるコースで
す！上記の数内であれば、
汚れやサイズ変更による
交換も無料でOK！

（※上記の数以上に交換が必要
となった場合は、左記の価格を
実費徴収させていただきます。）

月々の出費を抑えたい方
にオススメ★

お譲りプラン



左記の品物プラス

- ・はさみ
- ・粘土ケース
- ・通園カバン等
- ・その他お譲り

頂けるもの

上記の進級セットのうち、
レンタルで使えなくなっ
たものや、寄付していただ
いたものを、

抽選（不定期）でお譲りす
るコースです！

（※卒園、退園、転園されるお
うむぐみの保護者の皆さま、ぜひ
次の進級児さんのために寄付の
ご協力いただける方はよろしく
お願いいたします！）

古着でも気にならない方
にオススメ★